

資料1

平成30年度 施策評価（案）

スポーツの多面活用	．．．．	1
都市基盤の整備	．．．．	5
公共交通の利便性の向上	．．．．	9
公共施設等公共資産の管理、 最適化の実践	．．．．	13

主管部	市民協働環境部
関連部	産業振興部、教育子ども部

◆総合計画の施策内容

施策概要	本市ではスポーツ推進計画(※)を策定し、スポーツを通して、市民の健康づくりや地域活動の増進を図っていきます。 また、市民がライフステージ(※)に応じて、スポーツと親しめるように、機会や場の提供、施設の整備等スポーツ環境の充実にも努めます。 さらに、スポーツを通じた観光事業を実施していきます。
施策区分	取組方針
スポーツ、運動を通じた健康づくり、地域活動の増進	地域、大学、民間等と連携し、スポーツや運動を市民の自主、自発的な活動だけでなく、地域で習慣的に楽しくスポーツ、運動を行う市民を増やすための機会提供やネットワーク化を図り、市民の健康づくりを支援する仕組みを整えていきます。 また、地域でスポーツを通じた健康づくり、地域住民の交流、コミュニケーションを増進させるため、スポーツ、運動を促進するためのサポート体制を整備していきます。
ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	児童・生徒のスポーツ、運動の支援については、複数スポーツの検討や楽しく体を動かす運動遊びなど新たな機会の提供、小学校の体育、スポーツクラブ活動の支援体制を整備するなど、体力向上と将来にわたって運動、スポーツをすることが好きになる子どもを増やしていく取組みを進めていきます。また、それぞれの年代に応じたきっかけづくりのスポーツプログラムを提供しながら、習慣化へつなげていくサポート体制も整備していきます。 障がい者スポーツ支援については、障がいの種類や程度に応じて、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを楽しむ環境整備や取組みについて調査研究し、必要な措置を講じていきます。 これらの取組みを推進するため、本市を拠点に活動しているトップスポーツのチーム、スポーツ関係団体、学校、大学等が保有する人材、施設、設備、ノウハウ等のスポーツ資産をより有効に活用していきます。
地域スポーツ環境の整備	今後増加が見込まれるスポーツ人口に対応するために、学校開放施設や市スポーツ施設の利用拡大開館日の拡大、民間スポーツ施設の活用、都市圏を除く近隣自治体のスポーツ施設の相互利用について検討し、必要な場の確保に努めていきます。 また、スポーツを多面的に活用するための施設整備については、市のアセットマネジメント推進計画(仮称)(※)に沿って、進めていきます。
スポーツ観光の推進	スポーツ観光を推進することで市内外に情報発信を行うことにより、宗像の魅力の新たな形成やイメージアップにつなげ、交流人口や定住人口の増加につなげていきます。 また、国、九州レベルでのスポーツ大会やプロのスポーツ興行、合宿などの誘致、市主催の宿泊を伴う広域スポーツ大会やイベント等を開催するため、スポーツコミッション組織(※)を整備し、スポーツによる地域経済の活性化を図っていきます。 加えて、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「支える」視点からも捉え、市内でのトップスポーツ観戦の提供、スポーツ大会やイベントなどの創り手、担い手として参画する市民ボランティアを育成していきます。

戦略的取組

協働	●地域や大学などと協働で、市民のスポーツ参加機会の拡充や体力づくり支援などを行います。 ●市民活動団体、地域、企業と協働で、スポーツ大会の誘致やイベントの開催を行います。
都市ブランド	●地元の大学と連携し学校体育や学童スポーツの支援を拡充させ、スポーツ、運動が好きな子どもたちを増やすことで体力を向上させます。 ●スポーツ観光の充実により市の認知度向上を図ります。

◆総合戦略の関連取組

取組内容	1-3-② スポーツ観光の推進(重点取組) 3-2-⑦ スポーツ団体等と連携した体力向上の取り組み強化
------	--

1. 事業費

◆普通会計

	H27	H28	H29	H30	H31
事業費	1億4,273万円	1億6,313万円	4億3,737万円	調整中	

2. 施策の成果指標

	指標名	指標説明	単位	実績						目標
				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H31
1	週1回以上スポーツや運動を行っている市民の割合	市民アンケートを通して、市民のスポーツや運動をしている人の割合を算出 (H26は週1回以上の設問はなし)	%	67.2	43.6	39.3	39.8	43.5		60
2	児童・生徒の体力	全国体力・運動能力・運動習慣等調査における小5、中2の体力合計点平均値(全国平均を100とした場合)	%	99.8	100.7	99.8	100.5	102.1		100
3	スポーツ観光による新たな市内宿泊者数	スポーツ大会やスポーツイベントによる宿泊者数を年度ごとに累計で算出	人	107,119	108,756	114,266	115,263	115,541		137,000
4	ここ1年間スポーツを観戦した市民の割合	市民アンケートを通して、スポーツ観戦<プロ・アマ問わず>をした市民の割合を算出	%	28.5	29.7	30.4	26.9	25.2		50
5	ここ1年間スポーツボランティアをした市民の割合	市民アンケートを通して、スポーツボランティア<指導者を含む>をした市民の割合を算出	%	4.4	5.5	6.5	6.2	4.2		30

3. 市民アンケートの結果(重要度・満足度)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
満足度 (全施策平均値)	3.06 (3.03)	3.02 (3.06)	3.10 (3.05)	2.99 (3.04)	3.01 (3.00)	
重要度 (全施策平均値)	3.45 (3.70)	3.54 (3.73)	3.63 (3.81)	3.47 (3.73)	3.43 (3.69)	

4. 平成30年度の主な施策目標の達成状況

施策目標	H30年度の実施	成果
コミュニティや大学と連携し、習慣として楽しくスポーツ・運動を行うための仕組みや機会を整えていきます。	・福岡教育大学と連携し、リズムをとおした体力向上を実施し、運動が好きな子どもの育成に取り組んだ ・コミュニティセンターを会場に体力テストを実施 ・モデル地区にてニュースポーツを用いたスポーツ交流事業を実施	大学連携事業実施で体力向上につながった。 体力テストを定期的に行うことで、運動を行うきっかけづくりとなった。 モデル地区スポーツ交流事業において継続して楽しくスポーツ・運動を行う場を整えた。
4月にオープンするサポートセンターを中心とし、子どもから高齢者まで幅広く、スポーツ及び運動活動を支援します。	・運動のきっかけづくりとなる講座を開設 ・小学校授業の陸上・マット運動に指導者を派遣 ・中学校部活動へ指導者を派遣 ・障がい者施設へ運動指導者を派遣	市内スポーツ資産を活用し、子どもから高齢者まで幅広くスポーツ・運動活動を支援した。
市民体育館の老朽化に伴い、昨年度に引き続き保全改修工事を行うことで、スポーツ環境の充実に努めます。	・市民体育館の外壁・内装保全改修工事を実施	施設利用者に安全に安心して利用してもらえる環境となった。

5. 残された課題と今後の方針

残された課題	H31年度の実施	今後の方針
障がい者スポーツ支援について、障がいの種類や程度に応じて、障がい者が自主的かつ積極的にスポーツを楽しむ環境整備ができていない。 スポーツに関心の無い世代への運動のきっかけづくりができていない。	・障がい者施設に運動指導者を派遣し、障がいの種類や程度に応じた運動機会を提供する。 ・スポーツに関心の無い世代を対象に体組成計を行い、体の状態を知る場を提供する。	障がい者のニーズに合った運動機会を提供する。 スポーツに関心の無い世代に対するきっかけづくりを行う。

6. 施策目標に関連する主要事業の実績

事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
市民スポーツ活動推進事業 (市民スポーツ活動推進事業費) 文化スポーツ課	【事業の実績】 スポーツサポートセンターを開設し、子どもから高齢者までライフステージに応じたスポーツ推進活動を提供(市民体育館での運動プログラムの実施／小学校への指導者派遣／中学部活動への指導者派遣等)した。 スポーツ推進委員による小学校・地域コミュニティ等の体力テストの支援を実施した。 福岡教育大学と連携した小学校の体力向上支援を実施した。 障がい者施設に運動指導者を派遣し運動機会を提供した。 【施策に対する成果】 市内スポーツ資産を活用し、子どもから高齢者まで幅広くスポーツ・運動活動を支援することで、運動のきっかけづくりや機会の充実、子どもの体力向上につながった。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	127,099,553	48,939,946	▲ 78,159,607	▲ 61.5%	39,682,000
事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
スポーツ観光推進事業 (スポーツ観光推進事業費) 文化スポーツ課	【事業の実績】 市内民間スポーツ施設グローバルアリーナと連携し、東京2020オリンピック競技大会に向けた柔道ブルガリア代表、7人制ラグビーロシア女子代表キャンプ受入及び市民交流を実施した。 また、グローバルアリーナや実業団駅伝、商工会青年部等が民間主催のスポーツ大会の開催支援及びそれに伴う市の観光PRを実施した。 【施策に対する成果】 キャンプ受入と市民交流を通してブルガリアとの交流や女子ラグビーの振興に取り組み、市の新たな魅力形成・イメージアップにつながっている。民間の力を借りたPRを行うことで交流人口増へ向けた情報発信ができた。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	26,867,126	26,458,774	▲ 408,352	▲ 1.5%	29,480,000

7. 施策を構成する事務事業

事務事業名	所管名	主な指標名	単位	H29実績	H30実績
市民スポーツ活動推進事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	ニュースポーツ・体力テスト参加者人数	人	4,701	4,953
ふれあいの森総合公園再整備事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	—	—	—	—
スポーツサポートセンター運営事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	体力向上プログラムへの参加者数	人	550	3,182
大規模国際大会キャンプ地誘致推進事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	事前キャンプ地の誘致国数	国	2	2
体育施設管理運営事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	体育・学校施設開放利用者人数	人	483,164	469,530
体育施設改修事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	改修工事箇所数	箇所	1	1
スポーツ観光推進事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	むなかたスポーツコミッション(仮称)の会議開催数	回	0	1
企業スポーツ支援事業	市民協働環境部 文化スポーツ課	関係機関・団体との打合せ回数	回	11	11
体育施設管理運営事業(大島地区)	産業振興部 商工観光課	利用者からのクレーム件数	回	0	0

8. 総合戦略における重要業績評価指標(KPI)

	取組No.	指標名	単位	基準値 (年)	実績					目標
					H27	H28	H29	H30	H31	H31
1	1-3-②	スポーツ観光による本市来訪者	人	463,161 (H26)	537,902	545,847	485,640	428,679		533,000
2	1-3-②	スポーツ観光による本市宿泊者	人	107,119 (H26)	108,756	114,266	115,263	115,541		137,000
3	3-2-⑦	全国体力・運動能力・運動習慣等調査における小5、中2の体力合計点平均値(全国平均を100とした場合)	—	99.8 (H26)	100.7	99.8	100.5	102.1		100

(白紙)

主管部	都市建設部
関連部	

◆総合計画の施策内容

施策概要	市民や市外から訪れる人が、快適に市内を移動することができる道路網の整備、公園や河川などの良好な環境を維持するための効率的かつ適正な維持管理に努めていきます。
施策区分	取組方針
効果的な道路整備の推進	国道3号や九州縦貫自動車道などの広域的道路網から市街地へのアクセス性の向上につなげるため、市内の南北方向をつなぐ道路を整備していきます。
安全で快適な道路の確保	道路の計画的な補修や更新、橋梁の長寿命化修繕計画(※)に基づく補修など効率的な維持管理を行い、道路の安全性を確保していきます。 さらに、自動車が市内を円滑に走行できるように、混雑箇所や区間を解消するための道路整備に取り組みます。 また、中心市街地、観光施設周辺などの歩行者が比較的多い場所を中心に、歩行者と自転車の分離や段差が小さいセミフラット形式(※)の歩道など、安全性と快適性を確保した道路の整備を行います。 通学路についても、子どもが安全に登下校できるような整備を行います。
安全な公園整備の推進	公園を整備、改修する際には、市民の意見を聞きながら、誰もが利用しやすい通路や遊具など、安全性や利便性に配慮し、地域の実態に合った整備を行います。公園がないエリアには、公園の整備を推進していきます。 また、既存の公園について、利用者に安らぎや潤いを与え、安全に利用することができるように、計画的な改修や更新を行うとともに、維持管理費用の削減に努めていきます。
河川改修及び適正な管理の推進	市が管理している河川については、増水や氾濫を予防するため、土砂の堆積状況を確認し、随時浚渫(※)を行っていきます。 また、河川法面の補修などの適正な維持管理を行うとともに、河川改修の際の護岸整備や雨水排水路整備を進めていきます。 県が管理している河川については、県と連携し、河川改修などを推進していきます。

戦略的取組

協働	●コミュニティ運営協議会と協働し、地域に密着した道路や公園、河川の美観を守る活動に取り組みます。
都市ブランド	●段差の小さい歩道の整備など子育て世代のニーズに即した道路整備や公園整備を行います。

◆総合戦略の関連取組

取組内容	関連取組なし
------	--------

1. 事業費

◆普通会計

	H27	H28	H29	H30	H31
事業費	23億4,212万円	24億1,100万円	27億8,104万円	調整中	

2. 施策の成果指標

	指標名	指標説明	単位	実績						目標
				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H31
1	第三者に被害を与えた件数	道路、公園、橋梁の管理に瑕疵があり、賠償を行った件数	件	2	2	1	7	3		0
2	橋梁長寿命化計画の実施率	長寿命化した橋梁数÷計画橋梁数	%	0	8	12	18	22		39
3	公園長寿命化計画の実施率	長寿命化に用いた費用÷計画費用	%	0	0	2	5	8		29

3. 市民アンケートの結果(重要度・満足度)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
満足度 (全施策平均値)	2.95 (3.03)	2.92 (3.06)	2.93 (3.05)	2.93 (3.04)	2.91 (3.00)	
重要度 (全施策平均値)	3.55 (3.70)	3.61 (3.73)	3.72 (3.81)	3.65 (3.73)	3.62 (3.69)	

4. 平成30年度の主な施策目標の達成状況

施策目標	H30年度の実施状況	成果
公園長寿命化計画に基づく適切な維持管理により、安全な公園の整備を行う。	・宗像市ふれあいの森総合公園内の大型遊具(N=1基)の更新を実施した。	公園利用者に安らぎや潤いを与え、安全に公園施設を利用できるようになった。
橋梁長寿命化計画に基づく適切な維持管理により、橋梁の安全性を確保する。	・72橋の定期点検及び5橋の調査設計と4橋の補修・修繕工事を実施した。	定期点検の実施により、道路の安全性を確保できた。
主要幹線の舗装修繕をはじめとする道路の適切な維持管理により、安全性と快適性を確保した道路整備を行う。	・実施予定箇所の工事を進めた。 ・改善提案による修繕等を随時実施した。	主要幹線4路線と外7路線の舗装打換工事を実施したことで、道路の安全性を確保できた。
本市へのアクセス道路の強化	・直方宗像線、畦町村山田線、都市計画道路宗像福岡線(東郷工区、赤間工区)の県事業に対する支援を行った。	・直方宗像線は事業進捗が図られた。 ・畦町村山田線は事業進捗が図られた。 ・宗像福岡線については、東郷工区は事業計画の策定に着手し、赤間工区は事業の進捗が図られた。
幹線道路や地元提案の狭隘道路の整備	・実施予定箇所の用地買収、工事を進めた。	市内10ヵ所の工事を実施したことで、混雑解消や狭隘区間解消が図られた。
東郷駅宗像大社口側の都市計画道路東郷駅前線の整備を図る。	・橋梁下部工(左岸側)の工事を実施した。	東郷駅へのアクセス道路整備の進捗を図ることができた。

5. 残された課題と今後の方針

残された課題	H31年度の実施状況	今後の方針
宗像市ふれあいの森総合公園内の大型遊具の更新と財源の確保	・大型遊具の更新を継続して行う。	社交金要望額の見直し検討を行ない、計画の進捗を図る。

6. 施策目標に関連する主要事業の実績

事業事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
東郷駅前広場整備事業 (東郷駅駅前広場整備事業費) 建設課	【事業の実績】				
	宗像大社口の駅前広場及び自転車等駐車場の整備と東郷駅前線新平井橋の下部工工事を実施した。				
	【施策に対する成果】				
	東郷駅利用者の安全性と利便性の向上を図ることができた。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算 増減額(円)		平成30年度 当初予算額(円)
事業費	884,736,186	254,197,521	▲ 630,538,665	▲ 71.3%	199,239,000

事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
東郷日の里線道路改良事業 (東郷日の里線道路改良事業費) 建設課	【事業の実績】 日の里地域と都市計画道路光岡東郷線を連携する道路の利便性と安全性の向上を目的に整備を行う。 【施策に対する成果】 平成30年度は主に東郷64号線の道路改良工事を実施し、施策の取組方針にある、安全性と快適性を確保する道路の整備が進んだ。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	8,880,000	27,671,760	18,791,760	211.6%	38,000,000
事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
公園維持管理事業 (公園維持管理事業費) 維持管理課	【事業の実績】 遊具等施設を点検し修繕を実施した。宗像市ふれあいの森総合公園内の老朽化した大型遊具1基を更新した。 【施策に対する成果】 遊具等の修繕及び改良工事188件を実施した。また、ふれあいの森総合公園内の大型遊具1基を更新した。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	253,844,636	266,276,144	12,431,508	4.9%	262,775,000
事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
橋梁維持事業 (橋梁維持管理費) 維持管理課	【事業の実績】 72橋の点検を実施し、修繕工事については4橋が完了し橋梁長寿命化計画を進捗させることができた。 【施策に対する成果】 今年度修繕した橋梁数は4橋で、成果指標の「橋梁長寿命化計画の実施率」は22%となり、着実に計画を進めることができた。これにより施策である「安全で快適な道路の確保」を推進することができた。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	327,258,357	57,007,940	▲ 270,250,417	▲ 82.6%	122,400,000

7. 施策を構成する事務事業

事務事業名	所管名	主な指標名	単位	H29実績	H30実績
県道改進黨業	都市建設部 建設課	意見交換及び説明回数	回	22	7
道路新設改進黨業	都市建設部 建設課	工事实施箇所数	箇所	7	10
東郷日の里線道路改進黨業	都市建設部 建設課	事業の進捗率	%	60	60
徳重曲線道路改進黨業	都市建設部 建設課	意見交換や説明会の回数	回	1	1
東郷駅駅前広場整備事業	都市建設部 建設課	事業の進捗率	%	87	95
道路維持管理事業	都市建設部 維持管理課	修繕・改良工事発注件数	件	515	473
橋梁維持事業	都市建設部 維持管理課	当該年度計画における整備の進捗率	%	100	100
橋梁点検事業	都市建設部 維持管理課	点検実施数	件	169	72
公園維持管理事業	都市建設部 維持管理課	施設不備による事故件数	件	3	1
河川改修事業	都市建設部 維持管理課	浚渫や護岸工事発注件数	件	28	25

(白紙)

公共交通の利便性の向上

主管部	総務部
関連部	都市建設部

◆総合計画の施策内容

施策概要	市民の快適な日常生活の確保に加え、定住や観光事業を推進していくため、公共交通による市内の利便性と市外への接続の向上を図っていきます。
施策区分	取組方針
バスでつながるまちづくりの促進	高齢化の進展に対応するため、ふれあいバス(※)やコミュニティバス(※)の利便性の向上を図りながら、利用を促進していきます。 市民に対してふれあいバスやコミュニティバスの利用を継続して促進するとともに、自家用車を利用しない人や高齢者が、日常生活において移動がしやすい公共交通体系の構築を目指し、民間バスと連携しながらふれあいバスとコミュニティバスの路線を適宜見直すなど、利便性の向上に努めていきます。 路線の見直しの際には、利用状況などのデータを収集し、地域の要望を取り入れながら、路線を決定していきます。 また、利用料金については、受益者負担の適正化を考慮しながら、見直しを行っていきます。
船でつながるまちづくりの促進	今後も引き続き、島民の日常生活に必要な移動手段であるため、安全かつ快適な運航を維持していきます。 島民や島を訪れる観光客の利便性向上を図るため、渡船とバスなどの他の公共交通機関と連携し、接続の向上を図っていきます。 運航ダイヤなどの運航形態の変更を検討する際には、まず島民の意見を聴取し、観光客の声も踏まえ、最も効果的な運航形態を整えていきます。 また、安全かつ快適な運航を確保するため船舶の維持管理、船員の接遇研修及び安全研修や訓練などを適宜実施していきます。 渡船事業については、今後も引き続き経営改善に取り組んでいきます。
公共交通体系の整備	市内や市外を効率的に移動することができるように、民間の交通事業者に対する要望を行っていきます。 また、駅周辺やバス停周辺に駐車場及び駐輪場を整備することで、交通結節点(※)の機能向上に取り組みます。特に、国道3号沿線のバス停には、天神行きの路線バスも数多く発着しているため、福岡都市圏等への交通結節点としての機能強化を図っていきます。

戦略的取組

協働	●コミュニティ運営協議会と協働し、ふれあいバスとコミュニティバスの路線及び時刻表の見直しを行い、利用者の利便性の向上に取り組みます。
都市ブランド	●民間の交通事業者も含め、公共交通ネットワークの充実を図り、通勤や通学などの公共交通の利便性向上に取り組みます。

◆総合戦略の関連取組

取組内容	4-1-③ 公共交通網形成計画の作成及び計画の実施
------	---------------------------

1. 事業費

◆普通会計

	H27	H28	H29	H30	H31
事業費	1億9,371万円	2億3,906万円	1億1,093万円	調整中	

2. 施策の成果指標

	指標名	指標説明	単位	実績						目標
				H26	H27	H28	H29	H30	H31	H31
1	ふれあいバス利用者数	ふれあいバス年間利用者数	人	99,910	108,253	111,235	116,640	112,898		108,000
2	コミュニティバス利用者数	コミュニティバス年間利用者数	人	65,531	69,347	68,196	70,209	73,027		70,000
3	渡船運航回数(地島)	地島渡船渡船運航回数	回	2,159	2,161	2,160	2,167	2,161		2,182
4	渡船運航回数(大島)	大島渡船渡船運航回数	回	2,569	2,576	2,594	2,597	2,584		2,590
5	ふれあいバス満足度	ふれあいバス利用者アンケートで満足していると答えた市民の割合	%	78.9	83.0	77.9	73.4	83.8		100
6	コミュニティバス満足度	コミュニティバス利用者アンケートで満足していると答えた市民の割合	%	90.6	92.0	83.5	84.8	90.0		100

3. 市民アンケートの結果(重要度・満足度)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
満足度 (全施策平均値)	2.83 (3.03)	2.78 (3.06)	2.63 (3.05)	2.71 (3.04)	2.63 (3.00)	
重要度 (全施策平均値)	3.64 (3.70)	3.61 (3.73)	3.72 (3.81)	3.62 (3.73)	3.60 (3.69)	

4. 平成30年度の主な施策目標の達成状況

施策目標	H30年度の実績	成果
ふれあいバスやコミュニティバスの利用を継続して促進するとともに、自家用車を利用しない人や高齢者が日常生活において移動しやすい公共交通体系の構築を目指し、民間バスと連携しながら、ふれあいバスとコミュニティバスの路線を適宜見直ししていく。	・ふれあいバス及びコミュニティバスについて、各地区コミュニティ運営協議会の要望を基に路線改定を行った。	各地区コミュニティ運営協議会を通じて要望収集を行い、利用者のニーズに合わせたより利用しやすい路線を目指して改定した。
安全で快適な渡船の運航を継続実施し、渡船利用者の利便性向上を図る。引き続き安全な運航を確保するため船舶の維持管理を行う。	・安全運航を確保するために船舶の維持管理を徹底するとともに、ゴールデンウィークや夏休み期間中など多客時において、臨時便を出航させるなど、利便性の向上に努めた。	島民及び来訪者の移動手段として、年間309,125人が渡船を利用した。

5. 残された課題と今後の方針

残された課題	H31年度の実績	今後の方針
路線バスの存続に向けた利用促進 路線バスとコミュニティバス等との競合整理	・西鉄バスと協力した路線バスの利用促進の取組の実施	ふれあいバス・コミュニティバスの見直し(路線バス競合の整理)

6. 施策目標に関連する主要事業の実績

事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
公共交通整備事業 (公共交通整備事業費) 交通対策課	【事業の実績】 ふれあいバス及びコミュニティバスの運行(11路線) 廃止路線維持のための路線バス運行補填(4路線) 【施策に対する成果】 ふれあいバス及びコミュニティバスの運行により延べ185,925人の移動を支援した。 運行事業者が廃止した路線の運行を維持した。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	85,708,378	93,256,562	7,548,184	8.8%	78,844,000
事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
船舶建造事業 (船舶建造事業費) (渡船特会) 交通対策課	【事業の実績】 ニューじのしまの老朽化に伴い、船舶のリプレイスも含めた航路全体の運営を検討するため、航路改善協議会を開催した。 【施策に対する成果】 航路改善協議会において、船舶のリプレイスも含めた航路改善計画を策定した。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算		平成30年度 当初予算額(円)
			増減額(円)	増減率	
事業費	273,354,783	4,492,800	▲ 268,861,983	▲ 98.4%	4,500,000

7. 施策を構成する事務事業

事務事業名	所管名	主な指標名	単位	H29実績	H30実績
公共交通整備事業	総務部 交通対策課	広報紙への掲載、その他利用促進策の実施	回	4	4
渡船運航事業	総務部 交通対策課	大島・地島航路収支率	%	85	60
船舶建造事業	総務部 交通対策課	整備進捗率	%	100	100
駐輪場・駐車場管理運営事業	都市建設部 維持管理課	放置自転車回収台数	台	166	127

8. 総合戦略における重要業績評価指標(KPI)

	取組No.	指標名	単位	基準値 (年)	実績					目標
					H27	H28	H29	H30	H31	H31
1	4-1-③	公共交通網形成計画	—	未策定	未策定	策定	—	—	—	策定

(白紙)

公共施設等公共資産の管理、最適化の実践

主管部	経営企画部
関連部	総務部、市民協働環境部、教育子ども部、健康福祉部、都市建設部、産業振興部

◆総合計画の施策内容

施策概要	公共施設や公共インフラ(※)のあり方についての検討を行い、老朽化対策や長寿命化対策を計画的に行うことにより、将来的な財政負担の削減を図っていきます。
施策区分	取組方針
公共施設等の効率的な維持更新の推進	公共施設や公共インフラの最適規模の見極めや、効果的かつ効率的な管理運営の在り方について、将来世代に過度の負担を残すことがないよう、適切な管理運営手法を検討していきます。 公共施設については、その設置目的や利用状況、地域の将来人口、需要予測、将来的な必要性など総合的な視点から、施設規模の適正化や最適配置に加え、統廃合や機能転換、広域的相互利用などを含めた総量の圧縮(※)などを検討し、その実践に向けた取組みを進めていきます。 また、公共インフラについては、財政負担の平準化や新たなニーズへの対応等についての方針を示して、段階的に取り組んでいきます。 これらを進めるにあたっては、受益者である市民に対して、適宜必要な情報を提供し、市民との情報共有に努めていきます。
公共施設等の保全と長寿命化の推進	公共施設や公共インフラの規模や損傷の状況を常に把握し、これらの効率的な維持管理を行っていきます。 また、計画的な保全、長寿命化に努めるとともに、保全後のランニングコスト(※)の削減に努め、将来的な財政負担の削減を図っていきます。

戦略的取組

協働	●公共施設の利活用の検討について、企業、コミュニティ、公共施設に関係ある団体と協働して取り組みます。
都市ブランド	

◆総合戦略の関連取組

取組内容	4-1-⑦ 民間ノウハウの活用による公共施設・インフラの戦略的管理
------	-----------------------------------

1. 事業費

◆普通会計

	H27	H28	H29	H30	H31
事業費	18億1,654万円	4億3,002万円	9億8,425万円	調整中	

2. 施策の成果指標

	指標名	指標説明	単位	実績						目標 H31
				H26	H27	H28	H29	H30	H31	
1	公共施設の集約化、複合化、民活化の検討数	5年間に施設の集約化、複合化及び民活化を検討した施設の総数	件	—	0	0	2	1		3

3. 市民アンケートの結果(重要度・満足度)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
満足度 (全施策平均値)	2.91 (3.03)	2.90 (3.06)	2.93 (3.05)	2.96 (3.04)	2.90 (3.00)	
重要度 (全施策平均値)	3.60 (3.70)	3.58 (3.73)	3.76 (3.81)	3.71 (3.73)	3.60 (3.69)	

4. 平成30年度の主な施策目標の達成状況

施策目標	H30年度の実施	成果
宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画の進捗管理を行う。	・宗像市公共施設アセットマネジメント推進計画に沿った庁舎の適正な維持更新を行った。	適正な維持更新時期を判断するため、長寿命化計画を策定した。

5. 残された課題と今後の方針

残された課題	H31年度の実施	今後の方針
策定した長寿命化計画に従い、維持更新を行っていく。	・策定した長寿命化計画に従い、維持更新を行う。	策定した長寿命化計画に従い、維持更新を継続していく。

6. 施策目標に関連する主要事業の実績

事務事業名 (予算事業名)	事業の実績及び施策に対する成果				
庁舎施設維持管理事業 (庁舎施設維持管理費) 財政課	【事業の実績】 庁舎第二電気室キュービクルの更新、庁舎3階会議室空調設備工事を実施し、庁舎管理を図った。 【施策に対する成果】 キュービクルの更新により不具合の発生を防止した。				
	平成29年度 決算額(円)	平成30年度 決算額(円)	対前年度決算 増減額(円)		平成30年度 当初予算額(円)
事業費	128,544,935	205,795,354	77,250,419	60.1%	216,203,000

7. 施策を構成する事務事業

事務事業名	所管名	主な指標名	単位	H29実績	H30実績
アセットマネジメント推進事業	経営企画部 財政課	推進計画策定審議会開催回数	回	0	0
庁舎施設維持管理事業	経営企画部 財政課	庁舎内における事故件数	件	1	0

8. 総合戦略における重要業績評価指標(KPI)

	取組No.	指標名	単位	基準値 (年)	実績					目標
					H27	H28	H29	H30	H31	H31
1	4-1-⑦	公共施設アセットマネジメント推進計画(※)における大規模改修の実施率	%	—	6	16	38	52		100